

令和6年度 日下地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

新型コロナウイルス感染症は感染症の位置づけが季節性インフルエンザと同様の扱いに位置づけられそれに伴い感染拡大防止の取り組みも緩和され地域における行事・催しやケアプラザにおける福祉保健活動も徐々にコロナ前に戻ってきている傾向にあります。しかし、当ケアプラザの貸館の利用や自主事業に参加する方々の利用状況は、コロナ前の半数程度しか利用が回復していない状況となっています。ケアプラザが開所後22年経過していますが、開所もないころに立ち上がった福祉保健活動のメンバーが高齢化を迎え担い手不足などが生じ、コロナ禍をきっかけに活動が停滞もしくは停止してしまった状況もあります。一般的に少子高齢化もすすみ担い手不足が進んできていることや単身世帯が増加し地域における「つながり」も希薄化している状況もデータで示されています。そのような状況を踏まえあらためてケアプラザを地域の身近な福祉保健活動の拠点として利用していただけるように周知するとともに、ケアプラザの機能を最大限に発揮し誰もが地域で安心して暮らせるように、地域住民や区役所等関係機関と協働して地域の課題を明らかにしその解決に取り組んでいきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	これまで開催を見送っていた「社会参加の場としての居場所づくり」を目的とした障がい児・者支援事業の再開に向けて「同窓会」を複数回開催し安定的な運営につなげ、将来的には災害時における地域との「顔の見える関係づくり」の場となるよう、取り組んで参ります。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	昨年、約4年振りに実施した「ケアプラザ祭り」を今年も開催し、活動団体のモチベーション向上や住民自らが地域の魅力を再認識・発見するきっかけづくりの場として取り組んで参ります。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症を理解し、地域で安心して生活できるような取り組みを継続して参ります。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	介護と医療の連携の架け橋となるツール等の作成に着手します。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	高齢者一人ひとりが自分の健康増進・介護予防を主体的・継続的に行うことが出来る様に、介護予防普及啓発をしていきます。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

令和6年度日下地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	公設の施設として、住民、地域団体、事業者等に対し公正中立な立場で業務にあたります。特に介護に関する相談においては、相談者の意志を尊重した事業所の選択を心掛け、事業所の一覧を提示する等、複数の選択肢があることを相談者が分かるよう対応します。また、その結果を記録に残します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットに取り組み、また職員全員でその事例を共有することによって大きな事故に結びつかないよう努めます。 ・個人情報漏えい防止チェックシートを活用し、職員意識を高めるために年度当初に職員研修を実施します。 ・個人情報に該当する書類を外部に発送する際(FAX、郵便物)は必ず複数体制で作業、確認を行い、漏洩防止に努めます。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	利用者本人が目標を理解した上で、その達成の為に必要なサービスを主体的に利用して、目標の達成に取り組んでいけるような計画を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> (1) 多職種・多機関との連携、協働を図ることにより、利用者へのより良い支援につながるチームを作り、利用者の生活に還元できるよう取り組みます。 (2) 研修や勉強会に積極的に参加し、一人ひとりの専門性を高めるとともに、情報収集に努め、相談援助職としての資質の向上を目指します。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
	【その他料金】 なし	【その他料金】 特に聴取していません。
職員体制	管理者 1名 社会福祉士 1名 主任ケアマネジャー 1名	管理者(常勤兼務) : 1名 ケアマネージャー(常勤兼務) : 1名 ケアマネージャー(常勤専従) : 3名
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	生活とリハビリの理念の基、寝たきり・閉じこもりを作らない取り組みをします。		

実施体制	【実施日数】 週7日 【提供時間】 9:30~16:30 【定員】 42名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額 【その他料金】 食事代 1回 750円 令和6年7月1日より食事代 1回 850円 送迎費用(ガソリン換算) 1k 110円(エリア外) リハビリパンツL 1枚 140円 リハビリパンツM 1枚 110円 パット 1枚 30円 絆創膏 1枚 10円 滅菌ガーゼ 1枚 30円	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者:常勤1名 ・生活相談員:常勤5名(介護職員兼務) ・介護職員:常勤6名(内5名生活相談員兼務)、非常勤12名 ・看護職員(機能訓練指導員兼務):常勤1名、非常勤5名 ・運転職員:非常勤4名 ・調理員:非常勤6名 		
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和6年度「日下地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	20,837,757		20,837,757		20,837,757	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0		0	
雑入	210,000	0	210,000	0	210,000	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他	210,000		210,000		210,000	
その他	3,999,000		3,999,000		3,999,000	
収入合計	25,046,757	0	25,046,757	0	25,046,757	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	14,142,000	0	14,142,000	0	14,142,000	
本俸	10,614,000		10,614,000		10,614,000	
社会保険料	1,595,000		1,595,000		1,595,000	
手当計	1,917,000		1,917,000		1,917,000	
健康診断費	10,000		10,000		10,000	
勤労者福祉共済掛金	6,000		6,000		6,000	
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
その他			0		0	
事務費	1,334,960	0	1,334,960	0	1,334,960	
旅費	15,000		15,000		15,000	
消耗品費	350,000		350,000		350,000	
会議随費			0		0	
印刷製本費	5,000		5,000		5,000	
通信費	130,000		130,000		130,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	25,000		25,000		25,000	
職員等研修費	10,000		10,000		10,000	
振込手数料			0		0	
リース料	255,000		255,000		255,000	
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
その他	544,960		544,960		544,960	
事業費	250,000	0	250,000	0	250,000	
運営協議会経費	50,000		50,000		50,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	200,000		200,000		200,000	
その他			0		0	
管理費	8,870,000	0	8,870,000	0	8,870,000	
光熱水費	5,780,000		5,780,000		5,780,000	
清掃費	1,375,000		1,375,000		1,375,000	
機械警備費	380,000		380,000		380,000	
設備保全費	1,035,000	0	1,035,000	0	1,035,000	
空調衛生設備保守	450,000		450,000		450,000	
消防設備保守	65,000		65,000		65,000	
電気設備保守	95,000		95,000		95,000	
害虫駆除清掃保守	45,000		45,000		45,000	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	380,000		380,000		380,000	
共益費			0		0	
その他	300,000		300,000		300,000	
修繕費	470,000		470,000		470,000	予算：指定額
公租公課	905,040	0	905,040	0	905,040	
事業所税			0		0	
消費税	905,040		905,040		905,040	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	25,972,000	0	25,972,000	0	25,972,000	
差引	△ 925,243	0	△ 925,243	0	△ 925,243	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	200,000	0	200,000	0	200,000	
自主事業 収支	△ 200,000	0	△ 200,000	0	△ 200,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大大目内の訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和6年度「日下地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	25,589,900		25,589,900		25,589,900	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	0		0		0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,941,331		5,941,331		5,941,331	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0		0	
雑入	25,000	0	25,000	0	25,000	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他	25,000		25,000		25,000	
その他	0		0		0	
収入合計	31,710,231	0	31,710,231	0	31,710,231	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	29,026,000	0	29,026,000	0	29,026,000	
本俸	19,550,000		19,550,000		19,550,000	
社会保険料	4,080,000		4,080,000		4,080,000	
手当計	5,325,000		5,325,000		5,325,000	
健康診断費	35,000		35,000		35,000	
勤労者福祉共済掛金	36,000		36,000		36,000	
退職給付引当金繰入額			0		0	
その他			0		0	
事務費	2,049,000	0	2,049,000	0	2,049,000	
旅費	45,000		45,000		45,000	
消耗品費	160,000		160,000		160,000	
会議ठी費	10,000		10,000		10,000	
印刷製本費	10,000		10,000		10,000	
通信費	190,000		190,000		190,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費	12,000		12,000		12,000	
施設賠償責任保険	55,000		55,000		55,000	
職員等研修費	20,000		20,000		20,000	
振込手数料	10,000		10,000		10,000	
リース料	410,000		410,000		410,000	
手数料			0		0	
地域協力費	25,000		25,000		25,000	
その他	1,102,000		1,102,000		1,102,000	
事業費	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	100,000		100,000		100,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	220,000		220,000		220,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0		0		0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	50,000		50,000		50,000	
その他			0		0	
管理費	3,085,000	0	3,085,000	0	3,085,000	
光熱水費	1,535,000		1,535,000		1,535,000	
清掃費	165,000		165,000		165,000	
機械警備費	101,000		101,000		101,000	
設備保全費	284,000	0	284,000	0	284,000	
空調衛生設備保守	120,000		120,000		120,000	
消防設備保守	17,000		17,000		17,000	
電気設備保守	25,000		25,000		25,000	
害虫駆除清掃保守	12,000		12,000		12,000	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	110,000		110,000		110,000	
共益費			0		0	
その他	1,000,000		1,000,000		1,000,000	
修繕費	130,000		130,000		130,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	35,290,000	0	35,290,000	0	35,290,000	
差引	△ 3,579,769	0	△ 3,579,769	0	△ 3,579,769	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	370,000	0	370,000	0	370,000	
自主事業 収支	△ 370,000	0	△ 370,000	0	△ 370,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和6年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名：日下地域ケアプラザ

年4月1日～ 年3月31日

(単位：千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	5,455		5,455	5,920		5,920	30,985		30,985	96,095		96,095	8,360		8,360
	その他	495	0	495	0	0	0	250	0	250	1,255	0	1,255	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他	495		495			0	250		250	1,255		1,255			0
収入合計(A)	5,950	0	5,950	5,920	0	5,920	31,235	0	31,235	97,350	0	97,350	8,360	0	8,360	
支出	人件費			0			0	25,525		25,525	81,070		81,070			0
	事務費			0			0	2,090		2,090	11,360		11,360			0
	事業費			0			0			0	15,995		15,995			0
	管理費			0			0			0			0			0
	その他			4,917	4,917	0	4,917	290	0	290	1,305	0	1,305	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	4,917		4,917	4,917		4,917			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0	290		290	1,305		1,305			0
支出合計(B)	0	0	4,917	4,917	0	4,917	27,905	0	27,905	109,730	0	109,730	0	0	0	
収支 (A) - (B)	5,950	0	1,033	1,003	0	1,003	3,330	0	3,330	-12,380	0	-12,380	8,360	0	8,360	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和6年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業</p> <p>3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）</p> <p>6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業</p> <p>2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児</p> <p>4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者</p> <p>7：その他</p>
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	日下チェックーズ	平成27年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	平成27年に団塊世代の男性を対象とした講座「男の備学 防災編」が自主化、男性の仲間作りと地域とのつながり作りを進める。地域の新たな担い手と捉え地域活動の後方支援をしていく 今年度は日下チェックーズが防災の視点を持って独自で把握した地域情報を見える化した「日下しっとご暮らしのマップ・減災冊子」を作成、発行にあたり活動の調整役を担い支援する。完成したマップはインフォーマル情報として幅広い年代や事業所・ケアマネにも広く提供していく	5:地域	1.4.6	防災の勉強会や防災啓発活動やボランティア活動に積極的に参加し地域でのネットワークづくりに努める 概ね第2・第4土曜日9:30～		
2	あいさつ推進運動	平成29年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域で積極的に挨拶が交わせるまちづくりを支援、高齢者・障がい者・子どもの見守りの輪を広げ防災や防犯に役立てることを目指している。地域の企業と協働で新1年生にあいさつ給食袋を配布、あいさつ運動啓発のために川柳募集も見守り事業所と連携し地域ぐるみで実施していく	5:地域	4	・あいさつ運動推進会議(毎月) ・あいさつ川柳募集・選考・表彰 ・日下たんぼぼまつり参画「ひっしーの部屋」 ・夏期・冬期休み明けの登校時に見守り兼あいさつの声かけを実施		
3	日下健康フェスタ	平成28年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域薬局・薬品会社・区・保健活動推進員と連携、介護予防の重点的な取組のなかで継続的にからだ測定を実施することで地域の健康づくりを促進	1:高齢者	5	3月に開催 血管年齢とストレス測定 体脂肪・筋肉量・水分量測定		
4	大人の未来設計塾共催 ～ずっと住み慣れた地域で暮らすために～	平成29年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	住み慣れた地域で人生の最後まで自分らしく暮らし続けられるよう、必要な知識を提供する。	1:高齢者	5	3月年1回		

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
5	介護者の集い	平成24年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	在宅で要介護状態にある家族を介護している介護者が、日頃の介護について悩んでいる事、体験談等を話し共有できる場とする。また、日々の介護のヒントや情報を得られ介護者の精神的支援の場となる事、虐待防止になる事を目的とする。	5:地域		2 介護者同士の交流会、介護者が知りたい内容に合わせて講座を開催。		
6	ふれあい広場	平成20年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザへの来所が困難な地域の集会場出張相談窓口の役割を担う	1:高齢者		2 毎月一回 総合相談の受付、介護予防の普及啓発を実施		
7	エンディングノート活用講座	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	コロナ禍で離れた家族に会う機会を失っている今、大切な人に思いを伝えるツールとしてエンディングノートの活用を促す。また土業の先生などを講師に招き、人生設計を考える機会の提供を行う。	5:地域		1.2 税理士による講座&個別相談会 成年後見制度と相続		
8	HISHITAの茶和会	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	主に独居、虚弱高齢者を対象にした、地域での仲間作り、介護予防、閉じこもり予防を目標とした交流の場を提供するサロン	1:高齢者		5 毎月第4金曜日の午後実施 作り物やお菓子作り、カレーパーティーにクリスマス会を企画、併せて、消費者被害・口腔ケア講座などを実施。		
9	日下の小さな作品展	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	例年開催している「つるしびな祭り」も実施できていない状況であり、これまで出展協力をいただいていた部屋利用団体の方の活動意欲低下や交流の機会が減少している。その為、これまで実施してきたお祭りの規模を縮小し、1階の情報コーナーを会場に、窓やラウンジなどに作品を飾って「部屋利用団体の作品展」として開催する。	5:地域		1.7 ・11月の広報誌で地域住民に開催の周知 ・出展団体に依頼文を配布 ・12月初旬:出展団体にヒアリングを行い、出展作品を決定。 ・12月中旬:情報コーナーの設営準備。 ・1月末:作品の持ち込みスケジュールの調整 展示機関:2月8日~3月5日		

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
10	ポッチャ交流会	令和4年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	・障害者と地域をつなげる場として、企画。ケアプラザが主体となるが、運営側に地域活動団体や事業所等を配置し、障害理解や災害時の課題等の解決を目指し地域を耕す目的で実施する。	5:地域	2,3,5	開催は秋ごろを想定。前段に障害理解の啓発講座を行い、そこで発掘および育成したボランティアや民生員等にも当日の企画にかかわってもらう。		
11	笹下川クリーンアップ	平成22年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	地域福祉保健計画の一貫として、地域住民が笹下川の清掃に参加することで、地域の問題に気づき活動に参加するきっかけを作る。	5:地域		住民ぐるみでの笹下川の清掃活動 笹下川再生プロジェクトが舵を取っており、ケアプラザは事務局として機能している。近年では若い世代(子育て世代)の流入により、親子連れの参加が目立ってきている		
12	川の学校	平成22年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の中央を流れる笹下川。昔のようなきれいな流れを取り戻し、子どもたちにふるさとの川を残そうと、有志による区民企画運営講座を、「日下地区福祉保健計画」の観点から支援し、事務局として参加。	5:地域		笹下川について歴史や生息する生き物、自然環境などを子どもから高齢者までがいっしょに学び、フィールドワークを通じて交流する。		
13	1歳児親子学級 ありんこクラブ (コロナウィルス感染状況による)	平成16年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	1歳児親子学級を通して育児支援と同年齢の子どもを持つ親子との交流と仲間作りを目的とする。また、横の繋がりがりや地域と繋がるキッカケの機会とし、閉講後に自主サークルの立ち上げを促し、自主化に向けてフォローを行う。	3:養育者及び乳幼児		第1回のオリエンテーションを開校式とし、保健師や管理栄養士、外遊びやリトミックなど様々なプログラムを組み込み、親子同士のつながりを作り、また地域とのかかわりのきっかけの場となるよう、働きかける。 ※令和3年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により、規模を縮小して実施(回数:9回⇒6回、募集定員:24組⇒15組)		

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
14	親子スマイルタイム	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・未就学児を対象とし、母親や父親の横のつながりはもちろん、新たに引っ越してきた住民や第1子を持つ世帯に対してケアプラザの子育て事業をPRする広告塔の役割を担う。	3:養育者及び乳幼児	4.5	毎月1回のペースで、ヨガやリミック、絵本読みや工作等のプログラムを企画していきながら、同時に日下地区の地域活動者や団体等にも積極的にいかかわってもらい、地域と子育て世代をつなぐことを目的とした人員配置を実施していく。		
15	おひさま文庫おはなし会	平成15年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	乳幼児や子ども、保護者に絵本の楽しさを知ってもらい楽しんでもらう。昔話や童謡わらべうたなどを通して日本文化を伝える。	3:養育者及び乳幼児	4.5	毎月第2火曜日に絵本の読み聞かせ、手遊び、童謡などを親子で楽しむ。終わってからも、絵本の紹介やおしゃべりなどの交流の時間をとる。		
16	冬のおはなし会	平成16年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域での親子の交流、仲間作り。絵本に親しむ機会を作る。	3:養育者及び乳幼児	4.5	おはなしグループおひさまによる大型絵本読み聞かせ、パネルシアター、工作		
17	親子さんさん一む	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	日下地区社協と共催で行っていた「おひさまクラブ」と「公園あそび」の利用者数がここ数年で減少しており、且つ日下地区社協の組織体制の変更もあり、来年度から同事業を廃止する方向で調整していた為、ケアプラザ主催でそれに代わる居場所の提供を目的に企画。 親子あそびをきっかけに、地域に知り合いを増やし、普段の育児に関する悩みや不安を共有する場としても機能させていく。また、既存の子育て事業との差別化を図るため、公園プログラムなども実施。	3:養育者及び乳幼児	4.5	第2木曜日・開催時間:10:15～11:30 ※公園あそびの場合:10:00～11:30⇒雨天時は室内開催10:15～11:30 ・親子で遊べる場(おもちゃを広げて自由に過ごせる) ・季節を感じられる工作やあそび等の企画(クリスマス・夏祭り・運動会等の開催) ・コロナ過で実施しなかった誕生日月のメダル渡しを再開。 ・7・8・10月は外遊びのプログラムを実施(水遊びや運動会ごっこ等)		